

## ア 地産地消の推進による信州農畜産物への共感

県及び市町村、農業者、農業団体、流通業者、消費者等の関係者、関係団体が一体となり、県民運動としての「地産地消」の推進に取り組みます。

そのため、県民への地産地消における様々な取組や食の安全に関する情報の発信を通じて、「おいしい信州ふーど（風土）」を始めとする、豊かな信州の風土から生まれた信州農畜産物に対する関心と理解を深めます。

### 【達成指標】

項目	平成22年度	平成29年度 (目標)	設定の考え方
農産物直売所数	814店	840店	第1期での増加目標790か所→800か所(+10店舗)の倍増をめざす

### 【目指す5年後の姿】

- ◆「おいしい信州ふーど（風土）」が県内外に認知され、自然豊かな信州で生産される信州農畜産物への関心と理解が深まり、県民が様々な立場から地産地消に取り組んでいます。
- ◆新鮮な農畜産物を求め、農産物直売所を利用する消費者の増加により、地域の農畜産物の生産が拡大しています。
- ◆旅館・ホテル・飲食店等において、信州農畜産物を用いたメニューが拡大しています。
- ◆生産者・流通関係者等との連携・協力により、学校給食等において信州農畜産物の利用が拡大しています。
- ◆環境農業等への理解が進み、信州の環境にやさしい農産物等が地域の消費者に選ばれています。

### 【展開する施策】

- **自然豊かな環境で生産される安全で良質な信州農畜産物の情報発信**
  - 「おいしい信州ふーど（風土）」大使との連携などにより、消費者に対して安全で良質な信州農畜産物を積極的に情報発信し、地産地消に対する県民の意識の醸成や地域で取り込まれる様々な食文化の継承活動を推進します。
- **生産者と消費者との顔が見える関係の推進**
  - 生産者と消費者が身近に感じることができる農産物直売所の拡大を図ります。
  - 「おいしい信州ふーど（風土）」を中心とした地域食材がメニューとして提供されるよう、農業者と旅館・ホテル・飲食店等とのマッチングを推進します。
- **学校給食等における信州農畜産物の利用促進**
  - 生産者・流通関係者等と連携し、市場機能を活かしつつ、地域の青果店とのつながりの強化など新たな購入先の拡大を図るなど、学校給食調理場や病院、社会福祉施設等における信州農畜産物の利用促進に取り組みます。

- 「おいしい信州ふーど(風土)」大使等と協力し、学校給食における地産地消メニューの開発など、子どもを通じた家庭への地産地消の広がりを図るとともに、将来の顧客となるファンづくりに取り組みます。

- **環境保全・エコ活動等の促進**

- 環境農業への取組やフード・マイレージ等の重要性について、消費者に広く情報発信します。



【「旬ちゃん」の学校訪問による地産地消の推進】



【農業者と子供たちの農業を通じたふれあい】